

基本理念③

災害の最小化と迅速な復興による安心して暮らせる都市の構築

●あらゆる自然災害に備えた安全で安心なくらし環境の創出

静岡県及び東海地方では、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震の発生が危惧されており、建築物の倒壊や延焼火災、津波、崖崩れなどの被害が想定されています。特に、遠州灘約10kmの海岸と、浜名湖約28kmの湖岸に面している本市においては、地震に伴う広範囲での津波被害が想定されています。

また、近年は、地球温暖化に起因していると考えられている局地的な大雨や集中豪雨や大型台風などが多発しており、洪水等に伴う浸水被害や土砂災害が発生しています。

本市では、このようなあらゆる自然災害に対し、市民の生命を守るための防災・減災対策を積極的に進め、安全で安心して暮らし続けることのできる都市を構築します。

●大規模災害に備えた事前復興の準備

南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震により、延焼火災や津波被害が発生した場合は、長期間に渡って都市機能が麻痺する状態に陥る恐れがあります。被災後は早期の生活再建のための速やかな復興が求められますが、東日本大震災等これまでの大規模災害時には、基礎データの不足や喪失、復興まちづくりを担う人材の不足などにより、復興に影響が生じました。

こうしたことから、防災・減災対策と並行して、事前に被災後のまちづくりを考え準備する取組を進めます。